

結局丸山善視總監ノ調停ニヨリ

賞與一割減 昇給停止期間ハ一期 ニテ解決

昭和五年四月十二日ー六月二十七日 七十七日間 (罷業六日間)

東京市ニ於テハ昭和五年度豫算編成ニ當リ五百萬圓ノ新增稅ト賞與一割減其他ノ緊縮ニ因リタル結果

協同會、市從ハ賞與一割減、昇給問題、震災手當支給問題ヲ數次交渉シ來リシガ東交ハコレヲ等議化セントシ十二日當局ニ

賞與一割減反對 震災特別給與金ノ即時支給、傭員並ニ臨時職工解雇反對外四項ヲ要求ス

局側ハ十四日殆ソド拒絶ニ近キ回答ヲナス。組合内ニハ依然舊自治會派ト舊現實同盟派トノ對立アリ統制完全ナラザリシモ二十日ヨリ罷業決行一方協同會モ罷業ニ參加市從モ忠業ニ出デシガ東交幹部間ノ意見ノ對立アリ當局ハ二回ニ亙リ百五十四余名ノ懲戒解雇ヲ發表シ更ニ第三次解雇ヲ計畫スル風評ヲ耳ニシテ爭議團ノ足並亂レ罷業打切ル。

昭和五年十一月六日ー十二月二十三日 四十九日間 (罷業ニ至ラズ)

市電當局ハ昭和六年度豫算編成ニ際シ人件費百五十萬圓削減ヲ計畫シタル結果(一割減給)組合側ハ收入低下ノ反對激首反對ヲ叫ビ關係三組合ト合同シテ要求ヲ提出シ局側ハ多少讓歩ハナシタレドモ結局善視監ノ恣意ニヨリ爭議打切リトナル。